

## 令和元年度 釧路市総合教育会議意見交換会 意見への対応等

意見の概要（対応すべき課題）	担当部課	今後の対応・考え方等
地元の中小企業では、情報がオープンになっていないものが多い。	産業振興部商業労政課	令和2年度より「はたらく×中高生・つながるプロジェクト」の取り組みの一つとして、釧路市・釧路市教育委員会・釧路商工会議所の連携により企業情報発信サイトを構築し、地元企業の情報を小中高に提供していく予定です。
小中高のキャリア教育で同じような繰り返しのものではなく、発展性がないことが課題。インターンシップを含めた連続性のあるキャリア教育をどう進めるか。	学校教育部教育支援課	<p>キャリア教育を推進していく上では、小・中・高等学校における発達段階を踏まえた系統的な指導が求められています。</p> <p>そのため、釧路市では昨年度、児童生徒がキャリア教育に関わる諸活動について、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫したポートフォリオ的な教材「釧路市版キャリア・ノート」を作成し、配付しています。</p> <p>今後、各学校では、キャリア教育を職業調べや職場体験など限定的な活動として捉えるのではなく、キャリア・ノートを児童生徒一人一人の将来につながる記録と位置づけて効果的に活用するとともに、発達段階に踏まえて、児童生徒が自分と社会との関わりの中で学びの必要性を実感できるような取組の工夫に努めます。</p>
学校側と企業側の情報提供不足やミスマッチを解消するには、コーディネートする人材が必要。	産業振興部商業労政課	企業側については、「はたらく×中高生・つながるプロジェクト」により、企業情報発信サイトを構築し情報提供を行うとともにインターンシップ等のマッチングを行う仕組みを構築する予定です。

## 資料 1

<p>企業や市に求めることは、新入社員が抱くイメージとのミスマッチをなくすために研修プログラム等を行って、生徒に情報を伝える機会を作してほしい。</p>	<p>産業振興部商業労政課</p>	<p>令和元年度より就職希望者の多い北陽高校及び商業高校において、地元企業で活躍する学校OB等を集め、それぞれの仕事の働き方ややりがい等を伝える取り組みを実施しており、令和2年度についても引き続き実施する予定です。</p> <p>また、就職希望者の多い他の市内高校においても同様に取り組むことが可能かどうか検討中です。</p> <p>(参考) 令和元年度ハローワーク釧路資料 北陽高校：卒業予定者 236 人、就職希望者 65 人 商業高校：卒業予定者 154 人、就職希望者 89 人</p>
<p>定時制高校のように特別支援関係の生徒の多い場合は、自分で就職活動ができない生徒も多いので、そういう生徒への特別対応も今後必要。</p>	<p>産業振興部商業労政課・福祉部障がい福祉課・学校教育部教育支援課</p>	<p>現在、釧路市で開催している合同企業説明会等については、定時制高校に通う生徒も参加しており、就職活動に役立てていただいているものと認識しております（特別な対応の必要性については、関係機関と必要に応じて情報交換していきたいと考えております）。</p> <p>釧路市障がい者基幹相談支援センターでは、総合支援コーディネーター業務として、小中学校の特別支援学級の会議等に参加し、福祉制度の周知や事業所見学会等を実施しております。支援が必要な障がいのある方への就労支援を行う障害者就業・生活支援センター等の情報提供をはじめ、釧路市障がい者基幹相談支援センターなど、就労支援における相談先の周知に努めるとともに、引き続き、教育機関と福祉部門の連携強化の取組を推進してまいります。</p> <p>小中学校の特別支援学級における進路指導については、一人一人の障がいの状態及び発達段階、特性等を十分把握した上で進路学習、産業現場等における実習や進路相談を通して自立的に生活する力を育むとともに、進路の自己</p>

## 資料 1

		決定に向けては、学校として進路に関する情報を近隣校や関係機関と連絡を取り合いながら収集・活用し、本人の希望等も踏まえた主体的な進路選択ができるよう助言や援助を組織的・継続的に行ってまいります。
釧路市には中高の進路指導連絡協議会がない。協議会等があれば、高校入試や進路に関しての中高連携が進むのでは。	学校教育部教育支援課	現在、釧路市には中高の進路指導連絡協議会はありませんが、「中高特校長連絡協議会」などを通じて、高校入試や進路に関しての連携を深め、進路指導の充実に努めます。
小中高から人に対する帰属意識以外に、釧路の自然環境の良さ、企業の名前等、いろんな意味での帰属意識を持った子供を育てることが、釧路に戻ってくることに繋がる。	学校教育部教育支援課・生涯学習部生涯学習課	<p>釧路で生まれ、釧路で夢をかなえ、未来に希望を持った子供たちを育てていくためには、子供たちを育てる教員が釧路の素晴らしい資源（人・もの・こと）を理解し、活用していくことが大切であると考えます。</p> <p>そのため、教育研究センターにおいて「釧路湿原」の講座や釧路市の施設を活用した講座を設定したり、郷土読本専門員により小学校3・4年生で使用する副読本「くしろ」の編集を行ったりしています。</p> <p>教員自身が釧路の良さに気づき、価値を見出し、日々の学習に取り入れていきながら、釧路に愛着を持った子供たちの育成に取り組むよう指導の充実に図ります。</p>
幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校、それから中学校から高校、大学とそれぞれの段階でギャップがあり、その間で連携がどれだけうまく行くかが重要。	こども保健部こども育成課・学校教育部教育支援課	<p>教育委員会では、昨年度より中学校区の小中学校の教職員が一堂に集まって授業参観や協議を行う研修の機会を設けており、地域の連続した学びを考える機会としています。</p> <p>また、公立・私立の幼稚園・保育園と小学校の接続においても、互いの授業参観や引継ぎ方法の充実に向け研修講座を設定しており、今後も連携の充実に努めます。</p>